

高速湾岸線沈埋トンネル

施設管理者 : 首都高速道路公団
施設所在地 : 川崎市川崎区浮島町
調査見学時期 : 平成 8 年 2 月 27 日、5 月 17 日
施設概要

沈埋トンネルは、東京湾横断道路と首都高速湾岸線とのインターチェンジ付近の首都高速湾岸線が川崎航路を横断する場所に建設された海底トンネルである。航路を横断する場合、普通は橋で横断するが、川崎航路は羽田空港に隣接しているため、航空航路に障害を与える恐れがあり海底トンネルが採用された。

この海底トンネルは「沈埋工法」により建設された。沈埋工法はトンネルを輪切りにしたような中空のコンクリートブロックを海底に沈めてつなぎ合わせていく工法である。ひとつのコンクリートブロックの大きさは、幅約 30m、高さ約 10m、長さ約 120m、重さ約 4 万 t であり、これを現場まで船で曳航して沈めた。



工事中の沈埋トンネル出口付近